

三三

勅授

丙  
三  
四  
五  
八  
九

立案	昭和	年	月	日
決裁	昭和	年	月	日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍少將久保田智位階追陞ノ件

昭和九年十月五日  
 裁可八月十六日達  
 日官報報告濟  
 臺帳記入月

宮内省

裏面白紙



故海軍少將久保田智位階追陞ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年十月五日

内閣總理大臣小磯國昭



内閣

令第 九三三 號

起 案

昭和十九年十月五日

裁可 決定

昭和十九年十月五日施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍少將久保田智位階追陞ノ件

辭令案

例文

八月十八日付

内閣

裏面白紙

355

敍從四位昭和十九年八月十八日死亡 故海軍少將 正五位 久保田 智

大正八年八月一日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官敍位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年十月 四日

海軍大臣 米内光



海軍

久保田

海秘人第ニ五〇號

昭和十九年十月 四日

海軍大臣 米内光



内閣總理大臣 小磯國昭殿

故海軍少將久保田 智ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處大東亞戰爭作戰從事中比島方面ニ於テ八月十八日戰死候ニ付テハ特ニ位一級被追陞度

海軍

別紙上奏書進達ス

(終)

官報  
不登載

万 續第三〇四號

19.10.14  
付受

357

丙發第1703號

故海軍少將 正五位 久保田

知

特旨ヲ以テ位一級追陞セララル

昭和十九年 十月 十日

正五位 久保田

知

敍從四位

昭和十九年 八月 十八日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭  
令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年 十月 十日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣 末岡光政 殿

宮内省

二號野紙

358

裏面白紙